

実技試験における新型コロナウイルス感染拡大防止についての注意事項

令和3年度 着付け技能検定の実施にあたり、厚生労働省の定める「技能検定の実施に関する新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に基づいて試験を実施いたします。受検者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止にご理解、ご協力をお願いいたします。

**【1】** 申請書類は、配達記録が残る方法（簡易書留、宅配便等）で送付してください。

※感染防止のため各窓口へのお持ち込みはできるだけお控えいただき、郵送等で提出してください。

**【2】** 体調確認書の記入

受検者の皆様には試験日の2週間前からの体調確認書を記入していただきます。

試験当日の体温・体調確認等の必要事項はご自宅で記入してきてください。

2週間以内のア～オの症状に該当する方、およびカ～クの状況に該当する方については、受検をお控えいただきますようお願いいたします。

ア 検温（37.5度以上の発熱の有無）

イ 咳、のどの痛みなどの風邪の症状

ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ

エ 臭覚や味覚の異常

オ 身体が重く感じる、疲れやすい等

カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある。

キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる

ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該国等の在住者との濃厚接触がある

※体調確認書を紛失した場合、ホームページからダウンロードすることができます。

※体調確認書は受検票と一緒に郵送します。

**【3】** 以下に該当する方は他の受検者への感染のおそれがあるため、受検をお控えいただきますようお願いいたします。

ア 試験当日の自宅での検温時、または受検時の検温で37.5度以上の発熱がある方

イ 新型コロナウイルス感染症のPCR検査により陽性の判定を受けて、試験当日はまだ療養が終了していない方

ウ 保健所により、感染者の「濃厚接触者」と判断され、自宅待機を指示されており、試験当日はまだ解除されていない方

エ 海外（全ての国・地域が対象）から帰国、入国された方で、試験日当日が帰国・入国の次の日から起算して14日間経過していない方

**【4】** 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の通りご協力をお願いします。

ア 受付時の検温と、試験会場入室時にアルコール等での手指消毒を実施します。

※アレルギー等、なんらかの事情でご自身で持参された消毒液や除菌シートを使うことも可能です。

イ マスクは必ず持参し、正しい着用方法で試験会場内(受付時も含む)は常時マスクを着用してください。

- ウ フェイスシールド、マウスシールドのみの着用は認めません。使用する方はマスクを正しく着用後に装着してください。
- エ 試験会場は適宜換気をしますので、体温調整しやすい服装でお越してください。
- オ 使用済みマスク・除菌シートを含めゴミ類は全て持ち帰ってください。

## 【5】 試験当日の持ち物

「受検票」「試験問題」の持参品一覧で示された持参品

## 【6】 当日の流れ

### 1. 受付

#### (1) 受検票と体調確認書の提出

- ・モデルも一緒に受付をしてください。(2人揃ってから並んでください)
- ・受検票と体調確認書を受付に提出してください。
- ・受検票は本人確認が終わったら返却します。

※受検者同士が密にならないよう、間隔をあけてお並びください。

#### (2) 検温

- ・受付時の検温で37.5度以上の発熱のある方は試験会場への入場をお控えください。

#### (3) 本人確認

- ・申請書に添付された写真で、本人照合をします。
- ・本人確認をする時は担当者の指示に従ってマスクを外し、確認が済んだら再度マスクを着用してください。

### 2. 試験会場入室・準備

- ・入り口で手指消毒をしてから入室してください。
- ・検定スペースには受検番号カードが置いてあります。受検票と同じ番号の検定スペースで試験の準備を始めてください。受検票は係員が見やすいように受検番号カードの横に置いてください。
- ・試験会場内では必ずマスクをしてください。
- ・他の受検者との会話はお控えください。
- ・検定スペース内は受検票と、試験問題で指定された持参品のみとし、靴や鞆等は検定スペース外の空いている場所の壁に添っておいてください。  
(試験中の検定員の通路、及び採点時はモデルが検定スペースの周りを歩きますので、なるべく小さくまとめて置くようにしてください。)
- ・ペットボトルの持ち込みは認めますが、その他の飲食物を持ち込んでの飲食は禁止とします。
- ・携帯電話、スマートフォン、タブレット等の電子機器は必ず電源を切って鞆にしまってください。

※会場によってはすべての飲食物の持ち込みが禁止されている場合があります。

### 3. 実技試験開始

- ・試験の説明後、「検定員による受検者の持参品及び服装の点検」が始まります。試験が始まったら受検者、モデルと検定スペースから勝手に出ることはできません。モデルの着替えは持参品点検の後になります。

#### 4. 実技試験の終了と採点時の退出について

- ・進行係から「終了」の合図があったら、作業を止めてください。

終了の合図から採点が終了するまで、受検者はモデルに触らないでください。モデルに触ると不正行為として失格になる場合があります。

- ・「着物着付け、帯結び」終了後に、検定員による採点を行います。採点中、受検者は試験会場を退出していただきます。

試験会場の外で待機中は、施設の他の利用者の迷惑になるので受検者同士の会話は慎んでください。

<1級>検定スペースには受検票を残し、それ以外のものは小さくまとめて検定スペース外のあいている場所に置き、靴を履いて速やかに退出してください。

<2級>検定スペースには受検票とボディー（衣裳敷は敷いた状態）を残し、それ以外のものは小さくまとめて検定スペース外のあいている場所に置き、靴を履いて速やかに退出してください。

※検定スペース外に置く荷物類は、検定員の採点やモデルのウォーキングの妨げにならないよう、壁に添うように置いてください。

- ・モデルは受検者が退出後、検定スペースの中央に立ってください。この時モデルはポーズを作ったり、手を前で組んだりせず、腕は下におろした状態で待ち、進行係からの指示に従ってください。

※気分の悪い方はイス等を用意しますので、我慢せずに申し出てください。

#### 5. 採点終了と片づけ

採点が終了したら試験担当者から入室の指示があります。靴をはいたままご自分の検定スペースに戻り、進行係の指示に従ってください。

試験会場内での撮影は禁止しています。写真を撮る方は試験会場の外でご自分の作品のみ撮り速やかに片づけをして退出してください。

受検票は合格発表の時に必要となりますので、発表までは大切に保管してお持ちください。